きちんと分けて資源に！ゼロカーボンシティ占冠の実現にご協力を！

プラスチック製容器包装の出し方

皆さんが普段出しているプラスチックごみ（通称プラごみ）。一言でプラごみと言っても、プラスチック製品やプラスチック製容器包装、ペットボトルなど、それぞれ分別や処理方法が異なります。

占冠村を含め富良野沿線5市町村では、「プラスチック製容器包装」をプラごみとして収集しています。各地域から出たプラごみは中間処理施設に集められ、そこで選別・圧縮・梱包が行われています。その後リサイクル事業者に引き渡され、新たなプラスチック製品や化学製品の原料などに再利用されています。

プラスチックは軽くて丈夫、また安価でとても便利です。しかし、焼却されると地球温暖化の原因となる温室効果ガスが発生します。また、自然分解されにくいため、ポイ捨てや不法投棄をされると海洋汚染や生態系の破壊などさまざまな環境問題を引き起こします。

それでも、きちんと分ければ資源として生まれ変わるプラごみ。極力受け取らない、使わないこともちろん大切ですが、「分ければ『資源』、混ぜれば『ごみ』」を合言葉に、使った後には正しい分別と排出にご理解とご協力をお願いします。

プラスチック製容器包装とは？

プラスチック製の「**容器**」や「**包装**」のことで、中身（商品）を取り出したり、使ったりした後で不要になったものをいいます。プラスチック製容器包装には「**プラ**」と書かれた識別マーク（通称プラマーク）が表示されていますので、分別の際にはマークの有無をご確認ください。

プラスチック製容器包装の種類

Check！

ボトルのキャップなど本体と分離してしまう構造の容器は、**本体のみにマークが付いていることが多い**ので、表示の確認をお願いします。

プラスチック製容器包装の出し方

プラスチック製容器包装は「**プラスチックごみ専用袋**」と書かれた**青色の指定袋**に入れ、**毎週水曜日**（朝８時30分まで）に出してください。また、指定袋以外で出されたものは収集できませんのでご留意ください。

指定袋

～ 皆さんにお願いしたいこと ～

- **汚れのひどいプラスチックごみは、軽く洗ってください。**
- **生ごみ・ガラス類・金属類・紙類・電気製品等は入れないでください。**
- **大きな発砲スチロールなどは細かく砕いて指定袋に入れてください。**

ベール品質調査の結果について

富良野沿線で出されたプラごみは中間処理施設で選別された後、運びやすくするために圧縮・梱包されてブロック状の「ベール」へと変わり、その後リサイクル事業者に引き渡されています。また、ベールの品質改善を図るため、年に１回（公財）日本容器包装リサイクル協会によって異物や汚れたものが混入していないかの調査が行われます。この調査を「**ベール品質調査**」といい、調査の結果が悪いと回収を断られてしまうことがあります。

令和７年２月にベール品質調査が行われ、富良野沿線で出されたプラごみが適正に出されているかの確認を受けました。そこで判明した、間違って出されていたごみや、処理が適正でないごみについてお知らせしますので、プラごみを出す際の参考としてください。

ベールにされたプラごみ

容器包装以外のプラスチック製品

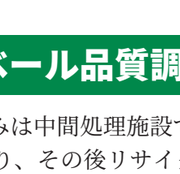
スプーンやストロー、チャック付きポリ袋、ビニールテープなどが多く見られました。これらはプラスチック製の商品ですが、容器包装ではないため、村では埋立ごみとなります。お間違えのないよう、出す前に必ずプラマークの有無をご確認ください。

汚れの付着したプラスチック製容器包装

固形物などの汚れが付着したお弁当の容器などが入っていましたが、水洗いして汚れを落としてください。また、容器をビニール袋の中に入れて指定袋の中に入れてあるケース（二重袋）も見られますが、確認作業が発生するのでおやめください。

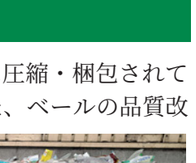
PET区分の容器（ペットボトル）

ペットボトルも混入していました。プラスチック製ではありますが分別方法が異なります。ラベルや容器本体に「PET」と書かれた識別マークの表示がありますので、ペットボトル専用袋で出してください。※キャップとラベルはプラごみです。



プラスチック以外の容器包装

特に混入が多かったのがカップラーメンのふた（紙製）です。村では埋立ごみとして収集していますのでご注意ください。段ボールやガラス瓶、缶類なども容器包装ではありますが、それぞれ分別方法が異なりますので、いま一度ご確認ください。



禁忌品

今回ガスライターが入っていました。過去には、リチウムイオン電池が使われている電子機器やカミソリ、ガラスの破片などが入っていたこともあります。発火の恐れがあるほか、作業員がけがをする可能性もありますので、絶対にプラごみと混同しないでください。特にリチウムイオン電池は衝撃や摩擦で発火しやすく、プラスチックごみと混ざった状態では消火が困難となり大きな事故につながりますのでご注意願います。

ごみの分別ハンドブック　ごみ分別辞典

占冠村では、ごみ出しのルールやマナーなどについて掲載している「ごみの分別ハンドブック」、主な品目の分別区分を50音順で掲載している「ごみ分別辞典」を全世帯にお配りしています。また、今年度において「ごみ分別辞典」の更新を予定しています。分別方法などで分からないことがあれば、建設課環境衛生担当までお問い合わせください。

問 建設課環境衛生担当 ☎ 56－2173